令和７年度「おかやま森づくり県民税」事業実績について

県民共有の財産である森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させるため、令和 7 年度に「おかやま森づくり県民税」により実施した森林保全事業の実績を報告する。

１　県民税の趣旨

水源の涵養や県土の保全、地球温暖化の防止など、全ての県民が享受している森林が有する公益的機能の重要性に鑑み、県民の理解と協力の下に、森林の保全に関する施策の一層の推進を図る。

２　県民税の使途

（１）水源の涵養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり
（２）森林整備を推進するための担い手の確保・育成・定着と木材の利用促進
（３）森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進

３　税収規模と活用額

・税収規模：近年約 5.9 億円で推移（令和 7 年度：約 6.0 億円見込）
・活 用 額：平均約 5.9 億円（令和 7 年度：約 6.0 億円）

４　事業の実績

（１）水源の涵養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり

（405,930 千円）

ア　健全な人工林の整備（294,480 千円）

健全で活力ある森林を育成するため、間伐、再造林等への支援のほか、コンテナ苗の生産効率化、少花粉苗木生産者への技術支援及びシカ林業被害防止対策の実施体制の整備等を実施した。

イ　多様な森づくりと快適な森林環境の創出（111,450 千円）

ナラ枯れ被害林の再生、被害木伐倒等による被害拡大防止への支援及び集落周辺などの森林の荒廃状況調査等を実施した。


少花粉苗木生産者への技術支援


間伐等の実施


ナラ枯れ被害拡大防止
（伐倒くん蒸）

（２）森林整備を推進するための担い手の確保・育成・定着と木材の利用促進

（173,153千円）

ア　力強い担い手の確保・育成・定着（33,798 千円）

林業の専門的な知識や技術を有する優れた人材を育成するため、高校生等への林業就業体験支援、現場指導者への研修や、安全装備や労働強度の低減資機材の導入等を支援した。

イ　木材の利用促進（139,355 千円）

県産材の需要拡大を図るため、公共建築物や住宅への県産材の利用促進、県産材サポーターの養成、国内外への県産材製品の販路拡大及び森林認証の取得促進の支援等を実施した。



現場指導者の育成



県産材の木工体験



販路拡大のための海外展示会（韓国）

（３）森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進　（18,884千円）

ア　県民への情報提供（5,924千円）

森林の働きや林業の役割を普及啓発するため、一般県民が参加するイベントや県立図書館等でのパネル展示、小学生向けの社会科副読本の作成及び生徒が活用する学校支援図書の購入等を実施した。

イ　県民参加による森づくり活動の推進（12,960 千円）

森林ボランティアグループ等の自主的な取組を促進するため、森づくりサポートセンターの運営（研修会の開催等）や企業等による森づくり活動を支援したほか、みどりの大会や環境学習エコツアー等を実施した。



学校支援図書の購入



森づくりサポートセンターによる研修会



みどりの大会の開催（里庄町）

県民税事業充当額合計　597,967 千円